

## 教師の仕事と 4 月までの課題

教師の仕事として一番大きなものは、やはり子どもたちとのかかわり成長を促していくことであると考えます。学習の指導はもちろん、生活習慣、学校行事での指導、いじめや不登校など問題への対応など様々な場面で一人ひとりの子どものニーズに合わせた指導が求められていると思います。特別支援学校に通う子どもたちは成長のスピードがとてもゆっくりであるとも言われており、粘り強く関わっていく必要があります。その時には「見守る姿勢」を大切にしていきたいと思います。私は教育実習や学生支援員などで子どもたちと関わる中で、頑張ればできるかもしれないことにも手を貸してしまうという場面がありました。その子どもが自分のペースで努力しているところを見守るということも大切な支援であると思うので心がけていきたいと考えます。

また、今回の実践演習では教師の仕事として子どもとのかかわりだけでなく、文書の作成や危機管理、保護者への対応、学校での人間関係作りなどの具体的な話を聞くことができました。特に保護者や同僚の先生など年上の人とより良い人間関係を築くということは、子どもの教育のためにも重要なことですが、これまであまり経験のないことなので不安な気持ちもあります。まずは適切な言葉づかいから、その上で積極的にコミュニケーションをとり、常に学ぶ姿勢を大切にしていきたいです。

これらのことを意識しながら日々を大切に過ごし、教師として働き始める4月に備えたいと思います。